

2010年6月

法科大学院統一適性試験

第4部 表現力を測る問題

《タイムスケジュール》

16:10 「表現力を測る問題」の試験開始
16:50 「表現力を測る問題」の試験終了

《注意事項》

1. 受験にあたっての注意

(1) 試験時間中の途中退出の禁止等

各部の試験開始から試験終了(解答用紙の回収時間を含む)までは、解答が終了しても途中退出はできません。

ただし、トイレ・急病等、やむをえない事情で退席される場合は、挙手をして試験監督員の誘導を受けて下さい。

試験終了後は、問題用紙はお持ち帰り下さい(解答用紙は回収します)。

(2) 筆記具等

解答用紙への記入は、HBまたはBの黒鉛筆を使用して下さい。

試験時間中、机の上に置いておけるものは、受験票、鉛筆、消しゴム、手動の鉛筆削り、腕時計、腕時計に準じるサイズの置き時計、眼鏡だけです。その他の物(筆箱、眼鏡ケース等)はカバン等に入れて下さい。

マーカー、定規、ボールペン、耳せん、ストップウォッチ等の補助具は使用できません。

(3) 解答方法

解答用紙は1枚(オモテ面)のみです。

この解答用紙は直接機械で複写しますので、絶対に折り曲げたり汚したりしないで下さい。

字数に制限はありませんが、文字は、解答用紙の太枠の外にはみ出さないよう、楷書で鮮明に記入して下さい。誤って記入した場合は、跡が残らないようにきれいに消しゴムで消して下さい。

(4) 棄権・欠席

試験を棄権する場合、挙手をして試験監督員の誘導を受けて下さい(その場合、問題用紙と解答用紙は回収します)。

本適性試験は、4種類(第1部～第4部)すべての試験に解答が義務づけられていますので、このうち1つでも棄権・欠席すると、すべての試験につき、採点がなされません。

2. 不正行為・迷惑行為の禁止

以下の行為があった場合、「失格」とし、その時点以降の受験をお断りします。また、すでに受験した部分についても無効とし、採点は行いません。次年度以降の受験もお断りします。

なお、法科大学院に対して当該受験者が「失格」となった旨、報告することがあります。

- ① 試験中に、他人に援助を与えたり、他人から援助を受けた場合
- ② 他人に代わって試験を受けた場合
- ③ 他人に対する迷惑行為を行った場合
- ④ 試験監督員の指示に従わなかった場合
- ⑤ その他不正行為を行った場合

3. その他

本試験において利用した著作物のうち、問題作成の都合上必要があるものについては、修正を加えています。

適性試験委員会
財団法人 日弁連法務研究財団
社団法人 商事法務研究会

試験問題は次頁から

【表現力を測る問題】

問題文の指示に従って論理的で説得力ある文章を作成しなさい。なお、問題は架空の設例であり法的な知識を問うものではないので、法律の解釈論や判例・学説の羅列は評価されない。

問題

X国にあるA社は、チャイルドシートを製造・販売している会社であり、当該業界では国内第2位のシェアを誇る。チャイルドシートは、近年普及が進んでおり、A社の実績も著しく伸びてきている。また、A社の高い技術力は外国でも評価されており、A社製チャイルドシートは多くの国でも販売されている。

B地方の山間部で大量のA社製チャイルドシートの不法投棄が発見されたという報道と、その報道により環境団体がリサイクルシステムを確立すべきとの指摘をしていることを契機として、A社の環境本部は、使用済みとなった自社製のチャイルドシートを回収しリサイクルするシステムを立ち上げるプロジェクトの是非を検討している。プロジェクトの検討段階における調査で、以下のことがわかっている。

- ・使用済みのチャイルドシートをそのまま他の乳幼児のために再使用することは、安全性の面から問題が残る。そのため、事故を避けるために使用済みのチャイルドシートは、焼却処分をするか、埋立処分をするか、分解してリサイクルする以外にない。
- ・A社製チャイルドシートは、適正に処理されれば、焼却処分されようとも、埋立処分されようとも、大気、土壌、水圏などの周辺環境へ悪影響はない。また、たとえ不法投棄されたとしても周辺環境へ悪影響はなく、現段階では、X国を含むいかなる国でも、この種の製品のリサイクルを強制する法制化の動きはない。
- ・現在、チャイルドシートは家庭から粗大ゴミとして排出されて自治体により回収されており、これらをA社が回収するには、A社が自社負担で回収する以外に方法はない。なお、リサイクルシステムにおいて回収費用の占める割合は無視できない程度に大きい。
- ・回収後にチャイルドシートをリサイクルするためには、新たにリサイクル工場を建設する必要がある。また、現在チャイルドシートのリサイクルに関する技術は確立しておらず、当面は、必要な機械設備や操業条件などのリサイクル技術を開発しながらこの計画を推進せざるをえない。ただ、製品に関する情報は、製造者が最もよくわかっているため、自社でリサイクルすることが最も効率的であるといえる。
- ・A社でリサイクルすることとなると、設計チームがリサイクルを考慮した設計に変更す

ることになり、将来的にはリサイクルにかかる費用は小さくなると見込まれる。しかし、今までそのような設計は検討されておらず、製品に反映させるには1年はかかると予想され、その製品が使用済みとなり回収されるまでにはさらに数年かかる。

- ・使用済みのチャイルドシートの回収費用、リサイクル設備の立ち上げ、リサイクルを想定した製品の設計変更の費用などを考慮すると、大きな設備投資および支出が必要となり、これらの費用がA社の収益構造を圧迫し、最悪の場合は数年間の赤字も見込まれる。

プロジェクトの是非を検討しているメンバーの一員として、現時点でこのプロジェクトを実施することに賛成あるいは反対の立場を明確にし、自説と異なる立場にも配慮しつつ説得力ある説明を試みなさい。

